

クイズ：20世紀を代表する物理学者アインシュタインは、ある特技がありました。それは？

①編み物 ②ソロバン ③バイオリンの演奏

S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

スペースパークボランティアの会 会誌

第74号 2024年（令和6年）11月 発刊

福島県郡山市駅前 2-11-1 TEL024-936-0201

高柳電設工業スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）内



S.P.V ホームページ



★案内・科学グループの出張活動報告（AGCエレクトロニクス郡山カルチャーパーク）

7月13日（土）午前10～12時参加者数40名弱、年齢3歳～小学校低学年

工作は偏光万華鏡・UVちょうちょ（とんぼ）・風船ロケットの3種を行いました。

偏光万華鏡は、偏光板と偏光板の間にセロハンテープを縦、横、斜めと6回位貼り、明るい方を向いて覗いてみると不思議な模様ときれいな色を見ることができます。

UVちょうちょ（とんぼ）はモールで作ったちょうちょやトンボの目玉に紫外線を当てると色が変化するUVビーズを付けます。

風船ロケットは、風船を膨らませ羽を付けたら真っ直ぐロケットの様に飛びます。

保護者も子どもたちと一緒に学び、遊び、ボランティア11名もあつという間の楽しい時間でした。

（案内・科学ボランティア：丹野）

★案内・科学グループの出張活動報告（こおりやま文学の森資料館）



郡山市制施行100周年記念特別企画展「広瀬克也の妖怪ワールド」のイベントとして7月27日（土）『ボランティアさんと一緒に工作を楽しもう！』が開催されました。妖怪【ひとつ目・一反木綿・傘お化け・雪おんな】の折り紙をする事になりました。

私は折り紙初心者で、子ども達に教えられるか心配でしたが、スペシャリスト龍さんが練習会を開いてくださり、当日はスムーズに伝えられました。

小さな子には、飛びはねる【ジャンピングかに】を準備しました。

『ここは鶴と同じだよ』と教えてくれたり『やったことある』と得意げに折っていて、日頃から折り紙で遊んでいるんだと嬉しく思いました。作った作品を持ち帰り袋に大事そうに入れていました。

会場は昭和5年に鎌倉に建てられたものを移築した久米正雄記念館で、冷房設備は少なく汗だくでしたが、子ども達は全く気にならなかった様です。

青空に木のぬくもりと畳の部屋で座卓を囲んでの様子は、昭和の夏休みそのものでした。1時間半で120名の来訪者で大盛況でした。

(案内・科学グループ：鏡)

★天文グループ員の過去の活動事例紹介

天文グループの谷口です。コロナ開けの昨年2023年にSPVに入会しました。

私は2010年に兵庫県の西はりま天文台で星空案内人の認定を受けて、2019年までは関西に居ました。そのときの活動について少し記します。

星空案内人資格取得時にイロイロな活動グループの紹介があり、勧誘があります。

また、案内人になるとメーリングリストで天文台やメンバーの観望会の案内、観望会スタッフの募集などが送られてきます。

私は、関西で星を学ぶ会というグループに参加していました。内容はというと

- ①大阪駅前第二ビルの公共施設の部屋を借りての勉強会
- ②合宿(宿泊できる天文施設に遠足)
- ③公園で観望会(一般向け)

私は主に①に参加していました。隔月開催、定員24名、参加費500円(ほぼ部屋代)。メンバーの人たちは、ものすごい星好きの方や明石市立天文科学館の説明員の方がおられ、季節毎の星の見どころや、最新の天文情報などをプレゼンしてもらっていました。2時間程度ですが、イロイロ違った人たちが講師になってなかなか面白かったです。私も何回かネタを作って講師になりました。勉強会のあとはビルの地下のファミレスに行って談笑しながら食べて解散という感じでした。また②の合宿は普段行かない光害のないところで星を見れるのが楽しみでした(天気が悪くても食べて飲んでワイワイ)。

このような体験を生かしながらSPVでも頑張っていきたいと思っています。

(天文グループ：谷口)

クイズの答え：③バイオリンの演奏

彼はこのおかげで学生時代は結構な人気者だったそうです。

スペースパークボランティアの会 (SPV: Space Park Volunteer)とは・・・
わたしたち、「スペースパークボランティアの会 (S.P.V)」には、約70名の会員が登録しており、ふれあい科学館を活動の中心舞台として、各フロアや館イベントにおける、展示物の説明や科学工作の指導、天体観望会のお手伝いなど”楽しく”ボランティア活動を行っています。
常時会員募集中です。科学館にご連絡ください。出張活動依頼もご相談ください。